

第4回・札幌市民ホール将棋大会

みずなら

棋報部
札幌支部
本盟中央
日連中
支み

優勝加藤正憲 準優勝大和達也

【札幌市・6月11日】健在・ベテラン勢

日本将棋連盟 札幌中央支部主催の、第四回札幌市民ホール将棋大会は、落ち着いた指し回しのベテラン勢が活躍。

さきがけ戦優勝は加藤正憲さん、準優勝・大和達也さん。上級者の部の優勝も高野明富（S46年アマ名人）さんと、ベテラン勢が健在ぶりを見せつけた。



優勝した加藤正憲さん

この大会では将棋文化普及の目的もあって、高校生以下の参加者が多数集い、毎回、上位に若手が食い込んでいる。このため、伸び盛りのホープが多数集い、毎回、上位に若手が食い込んでいる。このため、伸び盛りのホープが多数集い、毎回、上位に若手が

初優勝。準優勝の大和達也さん。初段の入り。有段者。強豪。は、昭和46年本。全日名。アマ高。人明富。野段。6段。優勝し。

予告 6月25日(土)
札幌市北区北10条西1丁目浦野ビル6階
日本将棋連盟札幌中央支部道場「みずなら」
< 新・将棋道場の内覧会 >
16時～19時
新しい道場の無料見学会・自由対局可

< 上原カップ前夜祭 >
19時～21時
下記大会の前夜祭・依田有司六段、大平武洋五段らを囲んで将棋談義。
参加費：飲食代として2千円・席料不要。

予告 6月26日(日)
(愛称：上原カップ) 10:30～15:30
<上原内科クリニック杯将棋大会>

【将棋で元気！みんなの交友会】
(参加費無料)
事前申し込み不要＝当日受付
プロ棋士指導対局
依田有司六段、大平武洋五段ら
レベル別トーナメント(賞あり)

新・将棋道場オープン
7月1日より札幌市北区北10条西1丁目浦野ビル6階に新しい将棋道場がオープンする。『日本将棋連盟札幌中央支部道場「みずなら」』だ。当面は金・土・日のみの営業。7月2日(土)、3日(日)に記念大会。



準優勝：大和達也さん

た。高野さんは支部顧問として本大会の運営・監督に当たっており、この日も朝の対局開始の号令をかけた。指導的立場にある高野6段自身は、トーナメントに

<新旧？強豪>：
井上さん(左)と高野元名人
はあまり出ないが、この日は後進の指導の意味もあって参戦していた。
強豪・有段者の部準優勝は、井上源太さん。井上さんの上位入賞は多数。この日も堅調に勝ち進んだ。



懸賞詰将棋・一題

【第一問】

作者不詳九手詰。
江戸期の作品らしいが、基本的詰手筋の例題として使われることが多いようである。



【第二問】

函館出身の大棋士・花田長太郎（明治30年7月6日生）贈九段の「辞世の局」。「将棋の虫」と言われるほどの将棋好きで関根金次郎十三世名人を頼って上京し師事。

花田が将棋に熱中するようになったのは新聞の懸賞詰将棋への応募がきっかけだったという。弟子の塚田

名人も当代きつての詰将棋作家に育った。

八段当時は「序盤の金子、中盤の木村、終盤の花田」と讃えられた「昭和の三雄」のひとり。

実力制第一期名人戦で木村義雄と覇権を争い、のちに升田・大山とも競ったがついに名人にはなれなかった。

しかし愛弟子の塚田正夫は宿敵木村を破って名人に就いた。



ガンで亡くなる数日前、運命を察した花田は、最後の力を振り絞って詰将棋を

創作し、構想がまとまると弟子の塚田を呼んで筆記させた。その辞世の局には「死の宣告を受けし日作る」と書き添えさせたそつだ。これが世に有名な花田長太郎「辞世の局」

ところが、その詰将棋、実は余詰めがあり、筆記した塚田が後から修正したとも伝えられている。

（参考文献：『名匠の棋跡（大内延之他）』、『名棋士名勝負（天狗太郎）』、『阪田三吉血戦譜（東公平）』、『名作詰将棋（二上達也）』）

上記二題の詰将棋の解答を適当なメモ用紙に記入して氏名を書き添えて、7月16日札幌市民ホール将棋大会会場でお渡し下さい。正解者の中から抽選で景品進呈。

マスコミ掲載情報

『週刊将棋』5月4日号
18面 5月22日第三回札幌市民ホール将棋大会予告記事

『週刊将棋』6月1日号
18面 6月11日第四回札幌市民ホール将棋大会予告記事

『週刊将棋』6月15日号
18面 6月26日「将棋で元気！みんなの交友会将棋まつり」（上原カッパ）予告記事

6月11日（土）
魅夜の惑いの会

第四回札幌市民ホール将棋大会のあと、将棋を指し足りない仲間14名が居酒屋「よいところ」に集まり、食事会&対局会を行った。

第五回
札幌市民ホール将棋大会
7月16日（土）10時～17時
一般：千円・高校生以下無料
トーナメント等（賞有り）
市民ホールファイナル
（最後の市民ホール将棋大会です。今後は「みずなら」で！）

予告

北10条西1丁目

浦野ビル6階「みずなら」

7月1日（金）15時

新道場オープン

7月2日（土）10時

席料一般千円

席料一般千円

プロ棋士指導対局有

夜・前夜祭

7月3日（日）10時

席料一般千円

席料一般千円

7月9日（土）10時

席料一般千円

席料一般千円

7月10日（日）10時

席料一般千円

編集後記

新しい道場ができ、支部の活動拠点となりそつだ。支部の月例会として始まった札幌市民ホール将棋大会は、一定の役目を終えることになる。ここで知り合った仲間もどうぞ新道場においでください。（山下弘人）